

肺高血圧症患者の精神状態・QOL とその関連因子に関する研究 についてのご案内

肺動脈性肺高血圧・慢性血栓塞栓性肺高血圧症のみなさまへ

当院では、患者さんに対して最善の医療を提供するべく日々努力しております。

肺高血圧症はかつて有効な治療法がほとんどない難しい病気と言われていましたが、ここ 10 年で薬物治療やカテーテル手術などの治療法がめざましい発展を遂げてきています。しかしながら、病気によって「走らない、階段を使わない、重いものを持たない」などの活動制限を医師から指示される場合があったり、今までの生活スタイルの変更を迫られることもあります。そのような中で、体調の変化などふとした拍子に不安な気持ちになったり、気分が落ち込んだりして、日常生活に支障が見られることがあります。私たちは、肺高血圧症患者さんの身体の症状や不安・うつといった精神症状、QOL（クオリティオブライフ：生活の質）の状況を調査して、不安や心配を改善したり、ストレスに耐え得る力を伸ばせるようなプログラムを開発し、より良い医療や看護の提供につなげていきたいと考えております。以下が研究の概要です。

- 調査内容は、不安や気分、QOL に関するアンケート（約 10～30 分程度）と、「ご自宅での生活の中で苦痛に感じていること、困っていること」「今の気持ち」について簡単なインタビュー（約 30～50 分程度）です。
- アンケートは入院中のお好きな時間に行っていただきます。インタビューは、入院中か外来の待ち時間などご希望に合わせて行わせていただきます。
- 研究は**治療とは一切関係ございません**。本研究に参加されるかどうかは、あなたの自由な意思でお決めください。参加してもしなくても、途中で撤回してもこれまで通りの診療を受けられます。説明を受けた後、参加をお断りになることも、同意後に参加を撤回することも可能です。不利益を受けることは一切ありません。

もしも、この研究に興味・関心をお持ちいただけましたら、次回右心カテーテル検査入院時に研究代表者が伺い、詳しい説明をさせていただきたく思っております。

入院なさいましたら、研究代表者がお声をかけさせていただきますので、その際にご協力の可否につきまして率直にご返答いただければ幸いです。ご不明点等ございましたら下記の連絡先までお気軽にご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。

<お問い合わせ>

研究代表者 慶應義塾大学看護医療学部 たきたゆうか 瀧田結香

メール：takitayu@sfc.keio.ac.jp

電話：[03-5363-2069](tel:03-5363-2069)

